

# 議会だより



## CONTENTS

- ◆ 初議会開催、議会構成決まる（第2回臨時会）…………… 2 ～ 4
- ◆ 第3回定例会（6月議会）で決まったこと…………… 5 ～ 6
- ◆ 一般質問…………… 7 ～ 8
- ◆ 常任委員会…………… 9 ～ 11
- ◆ ようこそ有権者…………… 11
- ◆ 議会活動日誌…………… 12

表紙：シラネアオイの苗移植（6月23日）



# 初議会

## を開催 ～議会構成決まる～

5月16日開催の令和5年第2回臨時議会では、議長に萩原正信議員、副議長に星野吉弥議員が選出され、各常任委員会の委員長・副委員長そして委員が選任されました。

また、利根東部衛生施設組合議員の選挙及び監査委員の選任、令和5年度一般会計補正予算（第1号）等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。



### 議長就任あいさつ



片品村議会 議長  
萩原正信

5月16日の臨時議会で、片品村議会議長の要職に就任することになりました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを痛感しております。

もとより浅学非才ではありますが、皆様の期待にそえるよう、職責を全うしていく所存でございます。

我々議会の果たす役割は、行政から示される予算及び議案に対して正しく可否を判断し、監視機能を発揮することが最も大切な使命であります。議会としましては、住民の代表機関として、より一層活発な議論と、住民の皆様納得のできる説明責任を果たし、安心して住みよい村づくりを進めてまいりたいと思っております。今後、皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

### 副議長就任あいさつ



片品村議会 副議長  
星野吉弥

副議長就任にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により副議長に就任させていただきました。身に余る光栄と感謝申し上げます。共に責任の重さを痛感しております。議長の補佐役として、村政発展のために公正かつ円滑な議会運営に議員各位のご協力を賜り努める所存でございます。

議員としての行政の役割を簡潔に考えると、当村で暮らす大切な村民の現在から将来への信頼感・安心感など、公共的価値を具体化し進めていく事と考えます。村当局・議会が共に活力ある村づくり実現のため、今後も村民皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

## 議会運営委員会

### =就任のあいさつ=

この度、5月臨時会において委員各位のご推挙をいただき不肖、私が議会運営委員長に就任させていただきました。

議会運営委員会は議会を円滑に、しかも効率的に運営するための委員会です。議会と行政が両輪となり、福祉向上、その他に寄与するよう努力いたします。浅学非才の身ではありますが微力をつくす所存でありますので、今後とも村民各位のご指導をいただきたくお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。(委員長 千明 勉)

◎千明 勉 ○星野 栄二 北澤 佳子  
狩野 孝夫 小柳 紀一 小林 政彦  
(オブザーバー 議長、副議長)



## 総務観光常任委員会

### =就任のあいさつ=

5月臨時議会におきまして委員長に就任いたしました。コロナ5類移行にあたり、疲弊していた観光を始めとした、あらゆる産業について元気が出るような施策を村当局に提言していきたいと思っております。また、近年の異常気象や地震等の災害にも備えた安全・安心な村づくりができるよう全員で頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。(委員長 狩野 孝夫)

◎狩野 孝夫 ○小林 政彦 高山 悦夫  
後藤 眞平 千明 勉 萩原 和典



## 産業民教常任委員会

### =就任のあいさつ=

この度、委員各位のご推挙をいただき、委員長に就任いたしました。

教育委員会、保健福祉課、農林建設課にかかる所管事項に対し、1年間、6名のメンバー全員で取り組んでまいりたいと思っております。引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。(委員長 北澤 佳子)

◎北澤 佳子 ○小柳 紀一 飯塚 美明  
星野 栄二 萩原 正信 星野 吉弥



## 議会広報編集特別委員会

### =就任のあいさつ=

6名のメンバーで「議会だより」の編集、発行に努めてまいります。村民の皆様には議会活動がわかりやすいような紙面づくりを目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

(委員長 萩原 和典)

◎萩原 和典 ○小柳 紀一 千明 勉  
星野 吉弥 狩野 孝夫 小林 政彦





# 決まったこと

## 第2回 臨時議会

### 専決処分の報告

- 片品村税条例の一部を改正する条例
- 片品村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

### 人 事

#### ●利根東部衛生施設組合議会議員選挙

星野 栄二    星野 吉弥    狩野 孝夫  
北澤 佳子    萩原 正信

#### ●片品村固定資産評価員の選任

金子 小百合（住民課長）

#### ●片品村監査委員の選任



千明 道太 氏（東小川）



星野 栄二（議員選任）

### 令和5年度 補正予算

（単位：千円）

会 計 名	歳入歳出補正前	補 正 額	補 正 後
一般会計補正予算(第1号)	4,067,000	11,368	4,078,368

### 補正内容

（単位：千円）

歳 入		
地方交付税	普通交付税	6,000
国庫支出金	子育て世帯への生活支援特別給付金	5,368
歳 出		
民 生 費	子育て世帯生活支援特別給付金事業	5,368
	園児送迎用バス購入	6,000



# 第3回 定例会

【6月議会定例会】

# 片品村議会で

令和5年第3回片品村議会定例会（6月議会）を6月9日から16日までの8日間にわたり開催しました。

村当局から「令和5年度一般会計の補正予算」「繰越明許費繰越計算書の報告」「条例の制定及び一部改正」「財産の取得」「計画の変更」等の議案が提案されました。

議会は、予算説明会や各常任委員会、本会議で審議のうえ、すべての議案を全員賛成で可決しました。

## 令和5年度 6月補正予算

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計補正予算(第2号)	4,078,368	124,900	4,203,268

## 主な一般会計補正内容

(単位：千円)

歳 入		
地方交付税	普通交付税	6,134
基金繰入金	財政調整基金繰入金	110,000
諸 収 入	デジタル基盤改革支援補助金	2,266
	電気自動車充電設備導入補助金	6,500
歳 出		
衛生費	尾瀬かたしな未来プロジェクト推進のための土地購入費	110,000
民生費	福祉医療費受給資格者を高校生世代まで拡大したことによるシステム改修費	1,075
商工費	道の駅尾瀬かたしなEV急速充電器設置工事費	9,000

## 令和4年度 一般会計繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

項目	事業名	金額	翌年度繰越額
農林水産業費	令和4年度県単林道改良事業林道仁加又線調査設計業務委託	12,199	12,199
	武尊牧場キャンプ場わくわく体験棟改装工事	2,000	2,000
商工費	設計監理業務委託	25,000	15,000
	武尊牧場キャンプ場わくわく体験棟改装工事	11,400	11,400
土木費	細工屋橋橋梁耐震・耐荷補修工事設計書作成業務委託	195,000	142,499
	細工屋橋橋梁耐震・耐荷補修工事	245,599	183,098
合 計			

## 議員発議により決定 むらづくりに対する特別委員会を設置

令和2年12月に設置されたむらづくりに対する特別委員会は、議員の任期満了に伴い廃止となりましたが、その活動を継承するため、6月16日の議会定例会最終日において議員発議により、再度、むらづくりに対する特別委員会を設置しました。

## 令和4年度 下水道事業等特別会計繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

項目	事業名	金額	翌年度繰越額
建設費	農業集落排水事業（機能強化）花咲地区散気装置設置工事施工管理業務	3,500	3,500
	農業集落排水事業（機能強化）花咲地区散気装置設置工事	34,000	22,430
	北部浄化センター環境影響調査委託料	5,000	5,000
	北部浄化センターし尿・浄化槽汚泥等投入設備工事（第2工区）工事監理業務及び施工管理業務	16,471	16,471
	北部浄化センターし尿・浄化槽汚泥等投入設備工事（第2工区）	241,000	148,600
合計		299,971	196,001

## 片品村条例の制定・一部改正について

件名	概要
尾瀬かたしなゼロカーボンパーク実行委員会設置条例の制定	尾瀬周辺の、脱炭素化の具体的な取り組みを進めていくための条例の制定。
尾瀬かたしな未来構想委員会設置条例の制定	村民主導によるむらづくりを進めていくための委員会を設置する条例の制定。
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	尾瀬かたしなゼロカーボンパーク実行委員会及び尾瀬かたしな未来構想委員会の委員報酬を規定するための条例の一部改正。
片品村税条例の一部を改正する条例	地方税法の改正に伴う条例の一部改正。
地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	固定資産税の減免対象となる資産の取得期間を2年間延長するための条例の一部改正。
片品村文化センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	片品村婦人会が片品村女性会に組織変更し、施設の利用料減免対象となる団体を変更するため、条例の一部を改正。
片品村青少年問題協議会条例の一部を改正する条例	片品村婦人会が片品村女性会に組織変更したこと等により、協議会の構成員を変更したため、条例の一部を改正。

## 財産の取得について

財産の種類 土地及び建物

- (1) 土地
- 所在地 片品村大字鎌田字下半瀬 3860番1外19筆
  - 地積 合計 17,446.8㎡
  - 地目 宅地、雑種地、山林及び原野
- (2) 建物
- 建物の所在 片品村大字鎌田字下半瀬 3891番地、3892番地及び3867番地
  - 延床面積 124.95㎡
  - 用途 倉庫
  - 付属建物 車庫及び物置（延床面積 147.99㎡）

取得金額 110,000,000円

取得目的 尾瀬かたしな未来プロジェクト推進のため

財産所有者 東京都江東区豊洲5丁目5番13号  
東京パワーテクノロジー株式会社

## 計画の変更について

## 片品村過疎地域持続的発展計画の変更

過疎地域持続的発展計画に新たな事業を追加し、過疎対策事業を行うために計画を変更。

## 契約の締結について

## 物件売買契約の締結

契約の目的 更新時期を迎える職員業務用パソコンの購入のため

品名及び数量 (1) 品名 NEC Mate  
(2) 台数 49台

契約の方法 指名競争入札

契約金額 19,800,000円

契約の相手方 群馬県沼田市上原町1694番地1  
株式会社 ナカムラ

納入期限 令和5年12月28日

村政を問う!

## 一般質問



星野 吉弥 議員

業金額はどのくらいか伺います。併せて採択見通しについてもどのような感触かお聞かせください。

**答(村長)**  
本事業は、観光庁の補助事業で地域一帯となった面的な観光地再生の支援を目的とするもので、宿泊施設や観光施設等の改修、廃屋撤去、面的なDX化などの取り組みが対象となる事業です。

質問に先立ち、本日熱心に傍聴されている皆様、併せて村民皆様に御礼申し上げます。4月23日執行の片品村議会議員選挙において信任をされた12名議員が今後4年間、更なる村民生活向上のため協議・協議し、尽力に努めますので、今後ご指導とご鞭撻を願ひし、通告に基づき一般質問させていただきます。

1. 観光庁の令和5年度事業「地域一帯となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」について

**問(1)**当初、「採択結果は6月下旬頃の見込み」と伺っているが、申請件数及び申請事

(表-1 申請内訳)

事業予定年度	申請件数	事業費
令和5年度単年申請	6件	3億8千万円(5年度分)
令和5~6年度継続申請	9件	5億1千万円(6年度分)
合計	15件	8億9千万円

片品村においては、現在、観光協会を通じて、村内観光事業者からの申請の取りまとめと、本事業申請に必要な地域計画の作成を行っているところと。内訳は表-1のとおりです。

また、採択の見通しについては、本事業の採択は、事業実施地域を含む一体的な地域計画を提出し、その計画について有識者による審査があり、採択要件の項目に加えて、取り組みの新規性、独自性、持続可能性の観点等も踏まえて総合的に評価を行い、要否を判断することになります。観光庁では国立公園の活性化を推進しているため、申請する地域計画に尾瀬と日光の両国立公園を始めとする豊富な自然を活かした、観光産業の活性化などを盛り込み、採択に向けて充実した内容となるように、計画書の作成を進めているところです。現在、申請受付の事務局から計画書の内容については、ある程度の評価は得られているようですが、片品村以外からも多くの申請が予想されるため、採択結果が発表されるまでは、不確定な状況です。

### テーマ

地域一帯となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業について

**問(2)** 事業採択の場合、国からの補助は3億6千万円、事業者負担5億3千万円となりますが、現在、国や県の農業関係事業には村も補助金を上乗せ支給している現状です。今後本事業が採択になった場合、観光庁(国交省)よりの補助事業でもあり、今後の観光振興をバックアップするためにも、村の補助金上乗せ支給を検討すべき課題と考えますが、村長の積極的答弁をお願いします。

#### 答(村長)

今後の観光振興をバックアップするためにも、国等の補助事業に対して、村の補助金の上乗せ支給を検討すべきとのことですが、議員のご質問にありました片品村の農業関係で、上乗せ支給をしている係で、上乗せ支給をしている補助金につきましては、群馬県の補助事業で「野菜王国・ぐんま総合対策事業」や「農業経営向上事業」で行う機械や施設整備等への支援として、村から事業費の10%以内の補助を行っています。

村内の事業者は、新型コロナ

ウイルス感染症の影響をまともに受け、現在、収束の兆しが見えませんが、見通しは不透明な状況です。

そのような状況の中で、今回の補助事業に申請をされたことは、経営者として施設等の磨き上げを行い、経営基盤の安定を図ろうとする思いが、強く感じられます。本事業は、事業規模も大きいため、一概に補助金を支給するということは、中々難しいことだと思いますが、施設への継続した投資は大変重要だと思いますので、片品村としても、ポストコロナの観光需要の変化をチャンスに変えられるように、他の事業の補助内容や予算なども精査しながら、出来る限りの支援ができるように検討をしていきたいと思っております。

これからは、単体の観光ではなく体験型や人との交流、学びなどを好む傾向があると考えられています。インバウンド需要も増えつつありますので、片品村の一番の魅力である自然環境を活かした観光コンテンツを確立するため、宿泊施



設や飲食店などと連携した取り組みができるように、検討したいと思っておりますので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 星野吉弥議員

村条例 平成元年12月14日条例第24号に、片品村観光農業推進資金があります。償還期限10年以内、利子補給率1.5%、補給限度額1,000万円となっておりますが事業決定された場合、今後限度額の検討等進めて事業支援をお願いし、次の質問に移ります。

## 2. 特別職の職員で常勤の給与について

**問**(1) 現在、条例による類似自治体の特別職の給与・報酬額は表12のとおりです。議員削減も検討を進めていかなければと考えますし、私たち議員の報酬をとやかく申し上げませんが、村長給与額は生活諸物価等全てが値上がりしていますし、時として首長選挙の公約としての引下げ等、大変憂慮した事もありました。発言しづらい事ですが、どのような見解をお持ちかお聞かせ下さい。

町村名	人口	村長給与額	議員報酬額	議員定数	副村長給与額	教育長給与額
片品村	4,049	544千円	180千円	12	478千円	446千円
川場村	3,085	620千円	180千円	10	520千円	520千円
昭和村	6,976	590千円	206千円	12	471千円	431千円
上野村	1,054	550千円	168千円	8	460千円	430千円
神流町	1,608	590千円	157千円	8	486千円	460千円
長野原町	5,271	600千円	160千円	10	499千円	462千円
高山村	3,289	620千円	180千円	10	523千円	506千円

(表12) 特別職の給与・報酬額

※参考資料 令和5年4月1日現在

### 答(村長)

民間調査会社の資料で、市町村長の報酬ワーストランキングというものがあり、それによりますと、約1,700の自治体の中で、県内では南牧村、片品村、上野村などがワースト50以内に位置付けられています。

さらに、働く職員の給与についても、先ほど上げた自治体のラスパイレズ指数は、全国1,700あまりの市町村の中で1,400番以下にあるなど、いずれも良好な状態にあるとはいえないことは承知をしております。また、地方議員のなり手不足が深刻化しているなどの報道もされる中、政府の地方制度調査会は令和4年12月の答申で、議会の開催方法や議員報酬などの改善を図ることが必要である旨を答申しました。

議員のご質問にもございましたが、議員や村三役などの特別職の報酬については、時の諸事情を考慮して減額をした時期がありました。村三役の報酬については、報酬額そのものを減額する条例改正を行ったため、減額した報酬額が現在も使用されている状

## テーマ

### 特別職の給与・報酬額について

況であります。

世界経済が不安定な中で、本村でも電気・ガス・食料品等の価格高騰に対応すべく経済対策の検討を進めておりますが、民間企業においては生活の基本となる賃金の底上げを実施する企業も増え、それに対して国も積極的な支援策を講じているところです。

我々特別職の報酬のあり方と、民間企業の賃金を一概に比較するわけにはいきませんが、昨今の経済情勢の中においては、特別職の報酬についても改めて検証する意味も含めて、第三者のご意見を伺うことも必要であると考えるところであります。

### 星野吉弥議員

村長職は、1日24時間1年365日職務に束縛された状況だと理解しています。

議員とは全く質の違う環境にあります。多くの議員の意見としてお願いし、私の質問を終わりとします。





# 総務観光常任委員会

委員が慎重討議しました

## 協議事項

**問** アヤメ平の雪上ツアーはどのような内容のものだったのか。また、戸倉スキー場で新しい圧雪車を買ったという情報は聞いているが、テレビ撮影で出た時に使われていた村の圧雪車はどういった扱いになっているのか。

**答**（むらづくり観光課長）

尾瀬キャットツアーという名称で、簡単には入れない特別な冬の尾瀬を体験するというツアーです。

戸倉スキー場から富士見峠を雪上車で移動して、アヤメ平周辺をバックカントリーやスノーシューなどをガイド同行で楽しむツアーとなっていて、2月下旬から3月下旬まで行い、利用人数は、14組で70名ほどが参加運営については、一般社団法人尾瀬アウトドアスポーツ振興会が行いました。

雪上車については、昨年、教育委員会ですべて更新した雪上車を更新した際に下取りに出し、その車両を観光協会が組合員に

有効利用していただけるよう下取りした会社から無償譲渡を受け、利用する人に運搬費やメンテナンス費用を負担してもらいながら貸出しを行うことになりました。今回のツアーについては、観光協会から貸し出した雪上車を利用しています。



**問** 婚活事業、ゼクシイ縁結びエージェントについて、利用状況等を伺いたい。

**答**（むらづくり観光課長）

今年度から婚活支援として、株式会社リクルートが運営する結婚相談所・ゼクシイ縁結びエ

ージェントと提携して行う事業となっております。高崎イオンモール店舗のみが対象となり、入金金3万3,000円をリクルートに全額免除していただき、利用料の最大3か月分を片品村で補助します。月額9,900円のシンブル、1万7,600円のスタンダード、2万5,300円のプレミアという3つのプランがあり、今年度は40万円を計上させていただきました。

**問** 普通免許で運転できないような消防車があるが、消防団員の免許取得に対して村から補助が出せないものか。

**答**（総務課長）

現状、片品村では準中型の免許がないと運転できない車両が5台配備されていますが、これらの車両は令和7年から15年の間に新しいものに入れ替える計画となっております。

準中型以上の免許を持ついないなど、補助を行う場合に対象となる団員は10人ほどになります。川場村を除く自治体が免許を取る際の補助制度がありません。川場村でも制度に向けて検討を進めているようですが、一定年数以上は団員活動を続けるという誓約をした上で補助を行うといった内容も含まれている

ようです。

令和3年に軽トラックの消防積載車を導入し、徐々に大型車両から小型車両への入れ替えも図っていきたくと考えています。車両の再編成に10年くらいかかること、さらに普通車免許しか持っていない若い人が増えてくることも考えられますので、補助制度の制定については、ぜひ検討させていただきたいと思

**問** 災害に備えて、役場を含め各地区での避難訓練の実施等を考えているか。

**答**（総務課長）

令和4年度に策定した地域防災計画の中にも、避難訓練の実施が基本方針の中にあります。5年度から全村的に始めるのは難しいので、モデル地区を定めて、住民も参加できる形の防災訓練の実施を検討していきたいと考えております。

**問** 武尊牧場に建設中のグランピング施設について、予算と事業費の詳細、宿泊料金、食事の内容と供給元、予約状況と今後の展開といったことについて伺いたい。

**答**（むらづくり観光課長）

令和4年度予算で、グランピングテントを設置するための整備費を1,300万円、わくわく体験棟改装工事の設計監理業務費250万円、工事請負費で2,



500万円を計上しています。事業費としては、74万4,759円を土台の整備、わくわく体験棟の設計監理費174万3,280円、わくわく体験棟の改装工事が2,398万円でした。そのうち令和5年度に、設計監理費は全額、わくわく体験棟の改装工事は、前払い金を支払った残りの1,448万円を繰越しとさせていただきました。令和5年度の当初予算で新たに土台整備費1,200万円を計上しています。予算計上しているものは、総額で3,850万円ほどになります。

テントは全部で10棟あり時期によって料金設定を変えていて、1泊2食で、透明なドームテント2棟が、1人1万9,800円から2万8,800円、ドームテントで透明ではなく直径が6メートルのもの4棟が、1万6,8

00円から2万5,800円、直径5メートルのもの4棟が、1万5,800円から2万4,800円という料金設定となっております。

食事は、ケータリングで提供することになっていて、道の駅で受注しますが、その内容については、試作を繰り返しながら検討を行っています。

予約状況については、土日に限つてですが、6月7日から受付を始め随時増えています。8月までは3割ほどとなっております。

**答**(副村長)

現在、急ピッチで工事を行っており、7月14日金曜日にグラウンドオープンの予定で進めています。

**問** 各区の要望等のヒアリングを今年は何月頃予定しているか。

**答**(総務課長)

一般的な要望事項については、例年どおり10月から11月にかけて要望を出してもらう予定ですが、それとは切離して、国や県、主に土木事務所の所管になるようなものについては、今年度は7月の中旬を目安に出してもらおうように準備を進めています。

**問** アカペラコンサートの開催にあたって、予算や参加チーム数、参加者数はどのくらいか。

**答**(むらづくり観光課長)

6月24日、25日の土日に開催され、5年度の予算で500万円を計上させていただいています。毎日コムネットという学生を対象にサポーター事業を行っている会社と観光協会とで連携して募集を行い、参加チーム数は14チームほどを予定していますが、重複して所属している人も多く、実際の参加人数は30人くらいになる見込みです。

今回は、FMぐんまと一緒に盛り上げようということで、道の駅の813ひろばにステージを設置しての開催を考えています。経費としては、音響機材の設置費や専門スタッフの旅費、宿泊費、弁当代など、予備費も含めて200万円弱を予定しています。

**問** 道の駅の5周年と花の駅の25周年イベントは、どのように実施するのか決まったか。

**答**(むらづくり観光課長)

毎年、道の駅で7月中旬に周年記念的なことをやっています。今年度は7月29日、30日の土日5周年記念を含めてイベントを行いたいと考えています。また、25周年の花の駅については、秋頃に花の駅でイベントを計画しており、振興公社を中心に検討させていただいている状況です。

(委員長 狩野 孝夫)

## 産業民教常任委員会

### 委員が慎重討議しました

#### 協議事項

**問** 片品村独自の危険木緊急伐採等の整備事業の補助金制度を設けた中で、利用件数実績を教えてください。

**答**(農林建設課長)

令和4年度は5件の申請がありました。100万円の予算のうち、85万5800円の支出をしています。内訳は、個人申請が4件、行政区の組長からの申請が1件で計5件の申請となっております。

また、令和5年度も20万円の上限で6件分、120万円を当初予算で計上させていただいております。

令和5年度については今のところ申請は出てきておりませんが、今後、出てくるものと思われま。

**問** 5月より移動販売車がマルイ商店に変更となったが、村の商品券は利用できるか。

**答**(保健福祉課長)

社会福祉協議会の事業になるので、そこから商工会に確認をもらいましたが、やはりマルイ商店の所在地が

沼田市になるので、移動販売車でも片品村の商工会の商品券は使えないということでした。ただし、高齢者が商品券を使用する場所が少ないということも承知しています。商工会の事情もあると思うので、あまり無理は言えませんが、今後、移動販売に限っては利用できるような方向で検討していく必要はあると考えています。



**問** 耕作放棄地対策として、利用できる国・県・市の補助金はあるか？ また村当局の政策を教えてください。

**答**(農林建設課長)

国の補助については、最適土地利用総合対策事業補助金というものがあって、この事業を活用するには、関係者による地域協議会を創設し、土地利用の構想図等を策定して進める内容となっております。申請も期間を要するものとなっております。

内容は、最大5年の継続で、事業費について10分の5・5の補助率で、年間の上限が1,000万となっております。

県の補助については、荒廃農地再生利用・集積化促進対策事業補助金というものがあります。農地集積、そして、県の振興品目の栽培を目的とした荒廃農地の発生防止や担い手が荒廃した遊休農地等を引き受けて、農地を再生利用する取組を支援する事業です。助成対象者は、認定農業者、認定新規農業者、集落の営農組織等が対象となります。補助単価につきましては、10アール当たり10万円です。

村の補助ですが、片品村農地再生利用・集積化促進対策事業補助金を創設しています。県の補助の内容と同様のもの、荒廃農地を農地に再生するための補助事業になります。村で取決めている補助単価は、10アール当たり13万円です。

村の政策としては、片品村



も荒廃農地が年々増えていることは例外ではありません。このような状況に対応するために農業委員や農地利用最適化推進委員による担い手への農地利用の集積と集約化、遊休農地の発生防止・解消、そして新規参入についても促進をしていきたいと考えております。

また、遊休農地が野生鳥獣の住みかになることも多いため、遊休農地対策と鳥獣害対策は表裏一体だと思えますので、併せて対策を講じていきたいと考えています。

**問** 旧南保育所と北保育所はどういう新しい利用方法があるか。進捗状況を教えてください。



**答** (保健福祉課長)

昨年、区に利用についての打診をしましたが、区では利

用は考えていないということでした。村の中でも活用方法についていろいろと検討していますが、未だに良い案が見つかりません。議員の皆さんからも何か良いご提案をいただければ大変ありがたいと思っておりますが、現在は全く決まっていない状況です。

**問** 全国的に登校拒否になる児童・生徒が増えたニュースを耳にするが、現在、利根沼田地区にはフリースクールといったものがなく、コミュニケーション能力や社会性を身に付けたり、生徒や保護者の方が相談できる場所が片品村にも必要になってきているのではないかと。

**答** (教育委員会事務局長)

今現在は、小、中学校にスクールカウンセラーを定期的に派遣して、そちらで対応はしていただいています。

コミュニケーション能力や社会性を身につける場所については、利根沼田地区には今のところそういった場所がなく、今後は必要になってくると思います。

一例ですが、高山村に北毛青少年自然の家という群馬県で運営している施設がありますが、こちらでは、北毛フレンドリークラブという事業を行っていて、様々な要因によって社会とうまく関われない青少年とその保護者に対して、

自然体験や野外活動を通して心の居場所づくりを行っていただきます。そういった情報を必要に応じて村民の方に提供できるように、情報収集並びに情報発信に努めてまいります。

また、各地域においての活動も、教育委員会としては非常に大事なことでと考えていて、子ども会の活動などに積極的に、もちろん徐々にでも良いと思えますが、参加していただけるよう願っています。

**問** 大人が正しい性の知識を伝えられるか不安という声を聞く。前橋や太田で親のための講演をしている方を呼ぶことはできるか。

**答** (教育委員会事務局長)

今、小学校では、通常の学級活動の中で、性教育を2年生から6年生において各学年ごとの内容で実施しています。中学校においては、毎年、性に関する講演会を実施しており、今年度は7月7日に実施をする予定です。

また、ネットの情報とも絡めて、中学校では非行防止教室、小学校においては情報モラル講習会などで性に関することを取り扱うこともあります。さらに、今年度は、村の人權講演会でも、LGBTQについての講演会を予定しています。

(委員長 北澤 佳子)

## Welcome ようこそ **有権者**

## 有権者になる心構え

尾瀬高校3年2組 岡澤 璃子 さん



先日、学校行事として笑下村塾さんによる主権者教育講演会がありました。その講演会では、芸人の方々が選挙に行くことの大切さや行かない場合のデメリット、民主主義とはどのようなものなのかなどを分かりやすく説明をしてくださり、楽しく政治を学ぶことが出来ました。その中でも特に印象深かったものは、私たちと同じ高校生が意見を上げ、票を集めて社会を変えたという事例の紹介でした。これを知った私は「そんなことができるのか」と思ったと同時に、

選挙への意識がガラッと変わりました。もともと私は、「選挙が大切なことは分かっているが1人の意見では何も変わらない」と考えていました。ですが笑下村塾さんのお話を聞いていくなかで「1人の票は小さくても大勢集まれば大きな票になり社会を変えられる。」そして「社会を変えていくために、私たち若者が選挙に参加することが大切である。」と考えられるようになりました。

私は今年、誕生日を迎えると18歳になり有権者になります。自身自身が選挙に行くことは勿論ですが、それだけではなく周囲に選挙に行くよう促すなどしていきたく考えます。私の小さな1票が社会を変えてくれると信じて投票します。

## 議会活動目録

4月	25日	金精道路(国道120号線)開通式
	28日	小口融資審査委員会
	30日	新議員任期開始
5月	9日	議員懇談会
	16日	第2回議会臨時会
	18日	小口融資審査委員会
	"	利根沼田国民健康保険運営協議会長連絡会総会
	"	広域圏消防運営委員会
	"	5月定例議長会・総会
	"	広域圏5月定例議員協議会
	"	利根沼田学校組合議員協議会
	22日	尾瀬山開き前夜祭
	23日	尾瀬山開き式典
	24日	議長杯グランドゴルフ大会
	26日	群馬県町村議会議長会理事会
	"	片品村商工会総会
	"	利根地方総合開発協会総会
"	広域圏5月議会臨時会	
"	利根沼田学校組合議会	
"	利根沼田春季行政懇談会	
29日	群馬県町村議会議長会臨時総会	
31日	議会運営委員会	
"	全員協議会	

6月	5日	武尊山山開き
	9日	第3回議会定例会開会
	"	全員協議会(補正予算説明)
	14日	産業民教常任委員会
	"	総務観光常任委員会
	16日	議会運営委員会
	"	第3回議会定例会閉会
	20日	白根山山開き
	"	片品村文化協会総会
	23日	シラネアオイを守る会
"	利根東部衛生施設組合議員懇談会	
"	利根東部衛生施設組合議会臨時会	
27日	振興公社取締役会兼株主総会	
28日	武尊山山開き式(川場村)	
7月	2日	谷川岳山開き(安全祈願祭)
	4日	議会と区長との懇談会
	"	出先機関事業概要説明会
	6日	沼田・利根地区新高校開設準備に関する意見交換会
	13日	7月定例議長会
	"	広域圏7月定例議員協議会
	"	関東農政局長との懇談会
	21日	国道401号期成同盟会総会
	"	国道401号期成同盟会要望活動

発行 片品村議会

責任者 萩原 正信

編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)



## かたしなフォトギャラリー



武尊牧場グランピング施設



武尊山山開き

### ○傍聴のお知らせ

**9月議会を傍聴しませんか!**

次回定例会は、**9月7日(木)**の予定です。

一般質問は、開会初日です。一般質問の質疑応答は片品村公式ホームページ(HP)の議会録画中継にて動画を閲覧できます。

片品村ホームページURL

<http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

### ○議会録画中継について

年4回の定例議会開会日の模様を動画(録画)配信していますので、是非ご覧ください。

①片品村ホームページトップ画面右側のパネル「**片品村議会 会議中継**」をクリック

**視聴方法**



☆スマートフォンでもご覧いただけます。

### 議会広報編集特別委員会

委員長	萩原 和典
副委員長	小柳 紀一
委員	千明 勉
委員	星野 吉弥
委員	狩野 孝夫
委員	小林 政彦

編集委員長 萩原 和典

令和5年4月に改選され、12名の議員で新議会がスタートしました。この議会だよりを通じて村民の皆様へ議会活動をより分かりやすく伝えるべく、これからも指導員として、これらもご指導よろしくお願いたします。

3年間に及ぶ新型コロナウイルスの影響により不自由な生活を強いられ続けてきましたが、ようやく規制もなくなりましたが、まだまだ感染対策等も必要ですが、まだまだ感ぜられにくいには多くの観光客が訪れました。片品村では武尊山の山開きをはじめ、各種イベントも通常開催されるようになりました。これから観光、農業等の産業が本格化していくシーズンとなります。

ロシアによるウクライナ侵攻をきっかけとした原油や食料の高騰など不安要素もありますが、片品村に多くの観光客が訪れ以前のよう賑わいが戻ることを願います。

編集後記